

NPT再検討会議まで一カ月、1200万署名をニューヨークへ あらゆる可能性を追求し、目標達成めざし奮闘しましょう

みなさん、

いよいよ2010年核不拡散条約(NPT)再検討会議が一カ月後にせまりました。NPT・ニューヨーク行動に参加する1500人の日本原水協代表も決まり、3月16日には、400万の「核兵器のない世界を」国際署名が船便で送り出されました。その後の全国のみなさんの努力下、4月3日現在、2005年を100万上回る約600万に到達しています。

2月15日、世界250のNGOがオバマ大統領と世界の指導者たちに「核兵器廃絶の交渉をただちに開始する」ようよびかける世界的キャンペーンを発足させました。アメリカでは「日本ではすでに何百万もの署名が集められている」との手紙が全米に伝えられ、活動家を励ましています。昨年3・1ピキニデーに参加したアメリカフレンズ奉仕委員会のジョゼフ・ガインザさんからは、米バーモント州上院議会在「オバマ大統領に核兵器廃絶条約の交渉開始提案を求める決議」を採択したとのうれしいニュースも届いています。

昨年4月のオバマ大統領のプラハ演説、7月のG8サミット、9月の国連安保理決議に続いて、3月26日、米口両国による新たな戦略核削減条約が合意され、同30日にはG8外相会議が「核兵器のない世界に向けた条件づくりを進める」との共同声明を発表しました。「核兵器のない世界」を求める流れはもはや誰も押しとどめることのできないものとなっています。

5月3日からのNPT再検討会議が、世界の人びとの願いにこたえて、核兵器禁止の合意にどれだけ接近できるか、とりわけ「自国の核兵器の廃絶」を「明確な約束」として受け入れた核保有国の努力、具体的なイニシアチブが最大の焦点となります。そのためにも日本政府が核密約をきっぱり破棄し、核持ち込み拒否、非核の立場を明確にし、核兵器全面禁止を大胆に提起するよう、私たち一人ひとりの声と行動でせまっていくことが決定的な力ぎを握っています。

NPT再検討会議までの一カ月、ニューヨークへの代表を先頭に1200万署名の達成に全力を尽くし、そしてそれをNPT最終日の5月28日へと発展させましょう。

- * 4月6日~9日、16日~19日、26日~29日を4月の6・9行動日とし、全国でいっせいに行動しましょう。
- * 全構成団体、構成員によびかけ、全国で地域署名、職場署名、学園での署名に取り組みましょう。
- * すべての地域原水協が自治体、町内会など広範な団体に申し入れ、最後まで共同の広がり追求しましょう。
- * 5月2日のニューヨーク行動に呼応し、全国で署名を軸に、「核兵器のない世界をめざす国際行動デー」の行動に取り組みましょう。続けて取り組まれる2010年国民平和大行進を大きく成功させましょう。